



森の守護神

# 森ボラ 通信

第212号 2020年1月20日発行  
NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**  
URL <https://www.shinrin-npo.info/>  
札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8ラルズ生活研究センター  
TEL (fax.): (011) 816 - 7010  
E-mail: hshinrin2002@nifty.com



## 人生100年時代を完走しよう



理事長 横山 清

明けまして、おめでとうございます。

平成が終焉となり、新元号、新天皇の誕生と昨年はまさに令和<sup>らんしやう</sup>濫觴<sup>うらんさう</sup>（物事の始まりの意）の年でありました。

北朝鮮に漂う不穏な空気や、米中の睨み合い、マイナス金利下の日本経済の不安感などの中で森ボラ活動は、見事な成果を満天下に知らしめた1年間でもありました。

当協会が人と自然のふれあいやコミュニティの醸成、環境保全の実現に資するとして、第39回「緑の都市賞」内閣総理大臣賞を頂いたことは、とかく利己主義に偏りがちな世相に利他の心の大切さを確り伝えたことでもあります。偶然にも受賞の知らせの直後に6年前、鳥柵舞<sup>うさくまい</sup>の森に植樹を体験したCGC日本のメンバー（約30名）がご夫妻で来道され現地に直行されました。身の丈を越す樹木の成長に感動された皆様から貴重な支援基金を頂戴いたしました。

案内いただいた酒井専務理事が「横山さんの木が大きいのは、オシッコをかけたからだ」の説明に大爆笑でしたが、『植えるも大事、手入れするのはもっと大事ですネ』と優しい労いの言葉も頂戴いたしました。

人生100年時代に生きる私達は、自然を大切に守り育て、平和な世界を築くために献身努力が必要です。

その為にも先ず健康第一の366日を完走しましょう。

## ◆ 冬季セミナー始まる

12月18日(水)に今年度1回目の冬季セミナーが、札幌市北区エルプラザ環境研修室で22名が参加して行われました。今回は会員例会として「緑の都市賞 内閣総理大臣賞」受賞の経緯、「伐木安全講習」を、そしてセミナーでは北海道森林インストラクター会副会長の工藤森生さんによるご講演をしていただきました。

### 1. 「緑の都市賞 内閣総理大臣賞」受賞の経緯

会員例会として応募動機、応募文書作成の詳細について酒井さん、清澤さんが説明しました。対象地区は札幌市澄川都市環境林で、応募名は「子どもたちが学ぶ北の里山づくり」です。ここは札幌市の都市化の最前線にあり、我々の会が2002年から森林保全活動しています。最初は7haから始まり今では約65haもの面積になりました。ここで年に約90日、延べ1,200人程が森林の維持保全に1年中活動しています。生きもの調査・保全としては、ホタル、エゾサンショウウオ、ヤマシャクヤクなどに注意を向けています。2016年から親子森林教室を主催して子どもたちに森林活動体験をしてもらっています。また、会の活動には資金的な援助が不可欠です。今後ご支援をよろしくお願いいたします。



### 2. 「伐木等の業務に関する特別教育」受講について

2019年10月末にコマツ教習所北海道センターにおいて表題を受講した松藤さんに伝達講習を開いてもらいました。「労働安全衛生規則」の改正に伴う事項も加え、伐採担当者は伐倒方向と反対側の斜面上方3m以上、他の作業者は伐倒木樹高の2倍以上離れる。受け口、追い口の作り方、重心位置と伐倒方向、傾斜木とくさび使用、大径木・空洞木・傾斜木・曲り木・二股木・枝がらみ木・つるがらみ木・掛かり木の場合の注意点を詳細に説明してもらいました。また、ソー・チェーンの張り方・構造、ガイドバー・フィルター・チェーンキャッチャーの点検、目立ての方法など伐倒に必要な知識を学習しました。現場での実技講習は1月8日に開催します。

冬季整理伐が始まっていますが、皆で注意して講習会で習った事を実践して、安全な森林活動を継続していきましょう。



### 3. 講演「これまでの森林ボランティア活動から次のステップに向けて」

工藤さんは5年前にも講演され、我々の活動の特に親子森林教室について見守っていただいています。今回は5年目を迎える「親子森林教室・森しり隊」の課題について助言をしてもらいました。これまでの活動から、基礎・土台・フレームは出来上がっている。年間スケジュールを見ると生真面目すぎるのでは、詰込み過ぎない、余裕、余力、共に楽しむを心がけては、との感想でした。項目別の課題に対しては以下のお答えでした。

①スケジュールのマンネリ化：マンネリ化はOK。ネタは無限ではない。小出しにする。指導者を変える。参加者を思う過剰なサービスは長続きしない。②継続と新規の子供たちの考え方：継続の子供たちには将来の担い手として手伝



いをしてもらう。答えや説明をしてもらう。③親子共同作業の事例：ハシゴを使った木登り体験、山菜教室、育樹などがあります。考えすぎずに、自然と共同作業になる。④今後に向けて：取り組みがSDGsや生物多様性の貢献度を認識してもらう。これまでの取組をまとめ記念誌の作成。最後に欲張らない、無理をしない、何よりも楽しむ、と結ばれました。北海道水産林務部 林務局 林業木材課 工藤課長様ご講演をありがとうございました。今後もよろしくお願いいたします。

#### 4. 受賞記念祝賀会

冬季セミナーの終了後に受賞記念祝賀会が三川屋会館で盛大に開かれました。乾杯は明治神宮で求めてきたお神酒です。酒井さんが授賞式の様子として、眞子内親王殿下のお側で直接お話をされ緊張して疲れ、ホテルではすぐに寝たとの事でした。お酒が回ると次第にいつもの飲み会となり写真のような様子の楽しい会になりました。皆さんお疲れさまでした。

(文・樞棒)



### ■ 活動報告

#### ◆ 伐木安全講習（実技編）を実施

2020年1月8日（水）、今年の活動始めとして澄川環境林にて安全講習を実施いたしました。今回の講習は昨年10月にコマツ教習所北海道センターにて「伐木等の業務（大径木）講習」（労働安全衛生規則第36条8号準拠）を受講した内容を受け、昨年12月18日の会員例会での研修に加え実際の作業現場での実技講習として17名の参加で開催されました。

まず矢澤さんによって法改正の注意点、効率的な受け口の作り方、小径木の伐木方法、伐木後の処理方法等の説明があり、その後各自が実際に小径木の伐木を実施いたしました。



手ノコによる受口の作り方を実演

その後、私が実際に傾斜木の前で安全確保、ホイッスルによる相互の注意喚起等の説明を行い、実際に傾斜木4本をチェーンソーにて伐木しました。大方予想は出来ていましたが私の経験が浅い為、思ったように伐木できず、数々の悪い事例を披露する羽目になってしまいましたが、「上手な人がやるより記憶に残った」等のご意見もいただき、イヤな汗をかきながら何とか講習を終える事が出来ました。

(文・松藤)

### ■ 澄川の自然 5

#### クルマユリ(車ユリ)・ユリ科

今年もまた同じような所に咲いていました。澄川の森 C-5 区です。澄川南小の子供たちが活動する場所の向かい側、木々の葉が茂り、林内が少し薄暗く思えるミズナラや、ヤチダモの稚樹の中にすくと立っていました。

草丈は70cm位、花は朱赤色で花びらは反り返り、下向きに咲きます。

もう一箇所は小屋から上流橋に向かう下り坂の中腹辺り左手に見つけました。

この花の立ち姿を見ると何か勇気をもらえます。(文・西野澄子)



写真・三橋/2019/07/08

## ■ 図書コーナー

今回は会員の推薦による、「森林・山村多面的機能発揮対策事業交付金」を活用して購入した図書を紹介します。閲覧、貸出し、今後の購入希望図書がありましたら市山、大窪まで連絡をお願いします。(事務局)

番号	図 書 名	著 者	発行所	本体価格(円)	購入年月
70	『いのちの森づくり』	宮脇 昭	(株)藤原書店	2,600	2019/12

## ■ 今月の幹事会

出席者：大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤・佐野・釣井・三橋・矢澤・矢野

- 2020年の抱負：“明るく、元気に、健康に”
- 2020年2,3月スケジュール(2月幹事会2/7) **※2/16, 2/25は集合時間が9:30にご注意!**
- 2019年12月会計報告・1月～3月収支見通し：機器購入予定を含み了承
- 親子森林教室：第6回の暖房の件は協議中、2020年度参加申込み状況
- 森林・山林多面関係：消耗品購入は1月末、人件費は2月中旬締め、2月末報告書提出
- 道民森づくりの集い2019意見交換会(12/17)：2020年度の予定は全国育樹祭準備確定後
- 野幌道有林風倒被害地復旧：3月までに覚書等の取交し
- マチなか、緑の都市賞受賞新聞報道等の効果による入会希望者状況：11名程が体験入会希望
- 報告
  - 澄川都市環境林の定点観測：4地点設置観測開始、順次ホームページにて公開
  - 1/8安全講習報告：さらに活動の安全を図るために手順等を整理し会員間で共有
  - 澄川北地区調査報告：遊歩道等の設置は可能。澄川南小マイツル観察林設置を継続検討
- 冬季セミナー対応：今後の予定を了解。2月セミナー講演での質問事項を提出検討
- その他
  - 忘年会会計報告：了承。次回の幹事は西野(悌)さんと松藤さんです。
  - 2020年度活動予定：前年並みの活動回数、野幌は7回、支笏湖周辺は6回を予定
  - 機器・器具購入予定：刈払機、チェーンソー、フェリクレーパー、オープンパン、鎌、バーニングペン、防寒雨具、ヘルメット、ウィンチロープなど

## ■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
12月17日(火)	澄川(澄川南小)	13	B-5, 7区整理伐、澄川南小6年生学習支援
12月18日(水)	札幌エルプラザ	22	冬季セミナー
12月20日(火)	澄川	18	A, D地区見回り、北地区右精進川左岸調査
1月8日(水)	澄川	17	伐木安全講習
1月10日(金)	ラルズ生活研究C	10	幹事会
1月12日(日)	澄川	16	B-5, D-8区整理伐(手ノコ使用)
1月15日(水)	澄川	14	B-5, D-8区整理伐(手ノコ使用)

■ 巻頭の『雪の森』の写真は会員の三橋さんが撮影したものです。